

チャレンジ通信

埼玉県議会自由民主党議員団
政務調査会長

なかやしき慎一



討議資料

新型コロナウイルス感染症に罹患されご逝去された方々、「令和2年7月豪雨」災害に遭われご逝去された方々のご冥福をお祈りすると共に、被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。

文月に思う

しかし、今年の新年を迎えたころ、誰か「コロナウイルス感染症の蔓延」が世の中にこれほどの影響を及ぼし、私達の「生活様式」そのものを大きく変えていかなければならない事態の



6/23 自民党県議団「団会議」中屋敷政調会長説明

訪れを想像できていたのではありませんか？私はもちろん、想像すらできていませんでしたし、ほとんどの方がそうであったに違いありません。この原稿を打っている11日の埼玉県の感染者数は、昨日より44人増えて1392人、回復された方1060人、残念ながら亡くなられた方66人、266人の方が現在療養中です。多くの皆さんの一早い回復を心からお祈り致します。さて、現在県では、感染者数の増え方を注視しつつ「第1波」の経験を踏まえ「第2波」に備える準備を急いでいます。議会では私も一員になった「コロナウイルス感染症対策特別委員会」が立ち上がり、対策をより良いものにするべく活動して参りますが、私もこれまで50名の団員の皆さんから提出いただいた、200をこえる要望を取りまとめ、経験を活かして、全力で取り組んでまいります。皆様におかれましては、今後とも徹底した「自己防衛」をよろしくお願い致します。

要望活動!



発行者
県議会議員 中屋敷慎一
〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256



県議会水泳振興議員連盟 大野知事に要望書提出

2月28日県水泳連盟から「県営屋内50メートルプール建設に関する要望」を受け、3月10日埼玉県「県営屋内50メートルプールの早期建設を求める要望」を大野知事に行い、私も議員連盟の一員として参加しました。現在わが県は、瀬戸大也選手を始めとする優秀な選手を多数抱える「水泳王国」。未整備の屋内50メートルプールを整え「水泳王国埼玉」をより確かなものにして参ります。



コロナに負けず活動中!

6月26日、常光・赤堀川。国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策予算」などの活用により、土砂の撤去や流域断面の流量確保に向けて事業を進めてもらっている常光地域の赤堀川。護岸は「かごマット多段積」工法で整いつつある状況ですが、一箇所歯抜けの状態です。出来ていない場所があると連絡をいただき調査に入ると、私有地との境界が確定しがたい状況で、工事着手できなかつた事が判明。早速、北本県土整備事務所と相談、事業効果を考え、未実施箇所についての早期対応を求めました。検討の結果、令和3年度の早期に対応頂けるとの事で安心しました。



7月6日、中根衆議院議員の声掛けをいただき、昨年10月の台風19号で、吹上・荊原地域の荒川の堤防がえぐられてしまった箇所に対応状況を視察しました。堤防のえぐられた部分の土砂を一定の深さで取り除き、水が浸潤しないようにシートを敷き込み、その上をブロックで埋め、土を埋め戻し芝を貼るという工事、この区間だけで1億6千万円の工事費ですが、吹上地域の消防団員の方に伺った話だと、警戒出動中には堤防が揺れているように感じたとの事。堤防の補強や強化は、流域住民にとって課題中の課題。これから



7月8日、党本部政務調査会の著した、「ポストコロナの経済社会に向けた成長戦略」について意見交換するため久しぶりに党本部を訪ねました。本部側の出席者は、座長の林方正参議院議員、代理の新藤義孝衆議院議員、事務局長の木原誠二衆議院議員のお3方。県議会側は小島団長を始めとする「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の自民委員の10名。「平時の便利、有事の安心」の考え方や地方におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)のあり様など活発な意見交換が生まれました。7月29日から始まる特別委員会に必ず活かします。



県議団政調会長として進行↓

自民党本部7階707会議室にてポストコロナの成長戦略について意見交換

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの「密」『密閉』『密集』『密接』を避けましょう!

県議会6月定例会報告

新型コロナウイルス感染 “第2波” に備え体制強化へ



**一般会計
補正予算**

【第5号】

約107億4,118万円

【第6号】

約1,484億4,435万円

過去最大規模の補正予算を議決！！

県議会6月定例会は6月15日から7月3日にかけて開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策と第二波への備えを盛り込んだ一般会計補正予算『【第5号】107億4,118万1千円及び【第6号】1,484億4,435万9千円』の計上等を議決しました。

その内訳は、【第5号】補正予算は、民間によるPCR検査体制のさらなる充実と、30分で結果が分かる抗原検査の導入等に30億3,901万3,000円、中小企業に対する支援として「新型コロナウイルス感染症対応資金※1」及び「経営安定資金※2」の融資枠を拡大するために56億2,690万円、さらに、子供たちの学びの機会を確保するため、県立学校のICT（情報通信技術）環境の早期整備のために9億3,192万9,000円が計上されています。

【第6号】補正予算は、6月12日に成立した国の第2次補正予算に対応したもので、新型コロナの入院患者を受け入れる医療機関の

空き病床に対し1日上限30万円1千円を助成する事業が盛り込まれています。その他、感染症専門医など4人1組の「COVMAT（コロナ対策チーム）」を設置する事業に約1億1,509万円、県内の中小企業や個人事業主を対象とした家賃支援に約120億2,354万円が計上されています。

6月定例会ではさらに、本会議場での3密を防ぐため、採決時以外は出席議員を3分の2にし、3分の1の議員は別室で審議をする体制にした他、私たち自民党県議団が提案した、県の新型コロナウイルス対策を検証するための「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を設置しました。私も自民党所属委員の一人として、また、団政調会長として懸命に努めて参ります。

7/3「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」委員に任命されました。



- ※1 = 埼玉県新型コロナウイルス感染症対応資金については、埼玉県庁産業労働部金融課 企画・制度融資担当 ☎048-830-3801 へご相談ください。
- ※2 = 経営安定資金はじめ、経営あんしん資金、緊急借換資金については、地元の商工会議所・商工会、またはお取り引きのある金融機関へご相談ください。

補正予算【第5号】【第6号】から主な事業をご報告します！

事業名	金額（千円）	事業概要
中小企業・個人事業主等に対する家賃への支援（産業労働部）	12,023,547 【第6号】補正予算	厳しい経営状況に置かれている県内中小企業や個人事業主等に家賃支援金を支給（賃借人・賃貸人に支援）
中小企業に対する資金繰り支援（産業労働部）	5,626,900 【第5号】補正予算	県制度融資枠（新型コロナウイルス感染症対応資金と経営安定資金）を拡大
緊急小口資金等の特例貸付の実施（福祉部）	13,667,941 【第6号】補正予算	緊急小口資金等の特例貸付を継続するために必要な貸付原資を補助
介護・障害福祉サービス等に対する感染症対策・再開支援（福祉部）	29,715,945 【第6号】補正予算	介護・障害福祉サービス等を提供する事業者の感染症対策やサービス再開に向けた経費を補助 またサービス継続に従事した職員に慰労金を支給
児童福祉施設等における感染拡大防止対策支援（福祉部）	2,941,564 【第6号】補正予算	感染拡大防止のための備品・衛生用品等の購入経費及び感染症対策等に関する派遣指導・相談窓口設置等にかかる経費を補助
県民相談体制の強化（保健医療部）	1,166,666 【第6号】補正予算	県民サポートセンターの継続、帰国者・接触者相談センター業務の都市医師会への委託継続等
検査体制の強化（保健医療部）	1,455,276 【第5号】補正予算 80,839,406 【第6号】補正予算	抗原検査の保険適用承認に伴う公費負担、PCR検査の民間委託及び民間検査機関のPCR検査機器整備への助成、発熱外来PCRセンターの検査体制の拡充、医療機関等への感染防護具等の追加配布、入院医療機関の病床確保等への支援、医療機関・薬局等の感染防止対策、医療従事者等への慰労金の支給等
妊産婦への総合的な支援（保健医療部）	830,982 【第6号】補正予算	妊産婦への寄り添い型支援、分娩前PCR検査費用の助成、PCR検査を実施する産科医療機関の設備整備への助成等
市町村事業への助成（保健医療部）	1,045,000 【第5号】補正予算 1,045,000 【第6号】補正予算	国からの「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し市町村が実施する感染拡大防止や医療体制の整備等への助成【第5号】及び、負担率が国10/10に拡大されたことに伴う増額【第6号】
学校教育総合支援事業（教育局）	101,472 【第5号】補正予算 1,971,200 【第6号】補正予算	臨時休業にともなう学習の遅れを解消するため、学習指導員を配置する市町村へ補助を実施

